

海外で日本の教育を

ミシガン州には多くの日系企業があり、日本からご家族・お子さんとともに長期滞在されている方が多くいらっしゃいます。日本と異なる環境の中で暮らす皆さんにとって、住居や医療はもちろん気になる場所ですが、おそらく教育も大きな関心事の一つ。

しかし、ミシガン州には日本人学校がなく、滞在家庭のお子さんは、通常は地元の学校に通っておられるようです。もちろん授業は英語で、米国のカリキュラムに沿った内容ですので、日本の学習進度や教育システムとは違いがあり、帰国後に戸惑いが生じるおそれもあります。そうした不安をなくし、帰国後に子どもたちがスムーズに日本の教育環境に適應できるようにと、地域の皆さんが協力して、週末に日本の教育課程の一部を日本語で学習する「補習授業校（以下、補習校）」が運営されています。

ミシガン州にある補習校のひとつ、デトロイトりんご会補習授業校は、ロサンゼルス、サンフランシスコに次ぐ規模で、約 900 名の子どもたち（幼稚園児・小学生・中学生・高校生）が毎週土曜日に集い、国語を中心に算数（数学）・社会・理科などの授業に楽しく取り組んでいます。会の名前は、ミシガンの州の花「りんご」に由来するとのこと。

今では日本の教育を「補習」するためだけでなく、アメリカの考え方も身に着けた国際社会で活躍できる人財を育てようとされています。土曜日のみという限られた時間を有効に使って、学習指導要領にも基づいた授業の実践とともに、子どもたち自らも研究テーマを見つけて解決を図るといった主体的な活動や学習につながる工夫がなされています。とりわけ、スピーチやプレゼンテーションなど、自分の考えを人に伝える機会が多くあるとのこと。

学校の創立は 1973 年。今年で 43 年目を迎えられるそうです。運営は、駐在員を抱える企業などの法人会員、個人会員、保護者の皆さんが協力して行われ、デトロイト日本商工会や在デトロイト日本総領事館などの支援を得ながら、伝統と実績を作り上げてこられました。

宮本正彦校長先生のお言葉からも皆さんの学校への熱い想いが伺えます。「変化の激しい時代において、大切なものが失われがちですが、本校ではボランティアの皆さんや関係機関の方々が、一つの方向に想いを共有できています。これこそが学校の誇りであり、持続可能な社会の発展にも不可欠なものだと思います。学校が子どもたちを預ける場ではなく、関わっていく場、繋がっていく場になっている。そのような環境に感謝する中で、子ども

たち自身も責任感を養い、大きく成長することを強く願っています。」

もちろん宿題もたくさん出るので大変なようですが、補習校で日本人の友達と出会ったり、日本語でおしゃべりしたりするのを楽しみにしている子どもも多いとのこと。校歌の歌い出しにある「海のように大きなグレートレイクス」、この五大湖に負けないくらい元気な子どもたちの声が、休み時間に聞こえてきました。



ミシガン州をはじめ周辺地域の補習授業校については、在デトロイト日本国総領事館のサイトをご覧ください。<http://www.detroit.us.emb-japan.go.jp/jp/life/schools.htm>